

α (アルファ) とβ (ベータ) について⑤

スマートβ (ベータ) について



- スマートβ (ベータ) とは従来型の時価総額加重平均で算出された指数ではなく、一定の基準を設け、その基準を満たす銘柄 (指数) から得られるリターンを指す
- スマートβはアクティブ運用の手法の一つと考えることができる
- スマートβを活用したファンドは一般的なアクティブ運用のファンドに比べて運用コストが低い傾向にあり、時価総額加重平均の指数をベンチマークとしたファンドに比べて短期的な上昇で割高になった時価総額が大きい銘柄への投資を避けることなどが期待できる
- スマートβの銘柄選定の基準である各指標は、あくまで過去のデータにすぎず、過去のデータが良好だからといって将来も良好であると限らない点に留意する必要がある

スマートβ (ベータ) とは何か？

既にご説明している通り、β (ベータ) とは市場からもたらされたリターンのことを指し、十分に効率的な市場では、インデックス運用のファンドを通じて各市場のβを獲得する方法があります。より運用コストの低いインデックス運用のファンドに投資することで、各市場のβに近いリターンを得ることができると考えられます。インデックス運用の最大のメリットは安いコストで、市場から得られるリターンを概ね獲得できることです。

一方で、スマートβとは従来型の時価総額加重平均で算出された指数ではなく、ある一定の基準に基づいて選定された銘柄 (指数) から得られるリターンを指します。選定基準は、ROEや利益、ボラティリティなどがあります。具体的にはJPX日経インデックス400のように、過去3年平均のROEが40%以上で、過去3年の累積営業利益が40%増加、などの基準で選定された銘柄で構成する指数があげられます。

また、TOPIXに代表される従来型の時価総額加重平均で算出された指数を上回るパフォーマンスを目指したり、ある一定の基準で銘柄を選定し運用しているということは、スマートβの獲得を目指した運用はアクティブ運用の手法の一つと考えることができます。

スマートβの特徴と留意点

スマートβを活用したファンドは一般的なアクティブ運用のファンドに比べて運用コストが低い傾向にあります。一般的なアクティブファンドでは、アナリストのリサーチに基づいて銘柄を選定したり、運用者の判断でポートフォリオの構築や管理が行われますが、スマートβを活用した場合は、ROEなどの一定の基準に基づき半ば機械的に銘柄を選定するため、相対的にコストが低くなります。また、スマートβを活用したファンドでは、時価総額加重平均の指数をベンチマークとしたファンドに比べて短期的な上昇で割高になった時価総額が大きい銘柄への投資を避けることが期待できます。

しかしながら、スマートβの銘柄選定の基準である各指標は、あくまで過去のデータにすぎず、過去のデータが良好だからといって将来も良好であると限らない点に留意する必要があります。そして、一定の基準を設けて銘柄を選定するスマートβでの運用の場合、基準に合致しなくなった銘柄の入れ替え作業が発生するため、従来型の時価総額加重平均で算出された指数でのインデックス運用に比べて、コストが高くなる可能性があります。

スマートβを活用したファンドで運用する際にもインデックス運用のファンド同様に、どのような基準で合成された指数なのか、指数への理解が重要となります。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- ファンドは預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

「投信新世代」のための基礎知識



「iInfo」はピクテのインターネット専用「iTrust」シリーズの 受益者のみなさまにご提供する**会員限定サービス**です。

ピクテのiInfoには投資家のみなさまの、
「プロ並みのファンドや市場環境の情報がほしい」
「投資に役立つ知識を自分のペースで学びたい」
 …というご要望を満たす様々な情報をご用意しております。

具体的には、iTrustシリーズのバリュエーションレポートやピクテの短期・長期の投資環境見通しを紹介した戦略レポート「Barometer」
 「Secular Outlook」、投資の基本をやさしく学べる「BASE VIDEO & TEXT」、コラム「投信新世代のための基礎知識」など、様々なコンテンツが用意されています。

iInfo詳細はこちら

<https://www.pictet.co.jp/itrust/iinfo>

(「iInfo」で検索してください)



iInfo by Pictet Facebookページのご紹介

iInfoのFacebookページができました！
 ここでは、私たちが日々取り組んでいることや、
 みなさまのお役に立てそうなことなど、
 様々な情報をお届けしてまいります。

iInfo by Pictet Facebookページ
<https://m.facebook.com/iinfo.pictet.jp/>

(Facebookで「iInfo」
と検索してください)



当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。